

◎ 28年度予算額

平成28年度予算編成に当たっては、経常収支の黒字化を確実にするため、的確な収入予測に努めるとともに、費用削減への取り組みを重点的に行いながら、効果的及び効率的な予算の編成を行うこととした。

1 予算規模（消費税抜き）

	H28 年度当初予算	H27 年度決算見込	【H28 中期計画】
経常収入	237 億 21 百万円	256 億 90 百万円	228 億 56 百万円
経常費用	228 億 38 百万円	247 億 52 百万円	219 億 88 百万円
経常損益	8 億 83 百万円	9 億 38 百万円	8 億 68 百万円
純利益	7 億 99 百万円	8 億 91 百万円	8 億 22 百万円

2 予算等の主なポイント

○ 収入

① 医業収益

入院収益については、中央病院では、診療報酬改定によるDPC医療機関係数の増、地域医療支援病院の指定などによる収入増などを見込み、27年度決算見込より1億1000万円の増を見込んだ。

外来収益については、肝炎治療薬以外の収入が増収すると見込んだものの、肝炎治療薬による収入が、保険適用となった27年度より大幅に減少すると見込み、外来収益は27年度決算見込より20億3200万円の減を見込んだ。

○ 支出

② 給与費

中期計画の実行等に必要な職員の28年度採用等を次のとおり計画し、27年度決算見込より3億2100万円の増を見込んだ。

・ 中央病院

正規職員 16 名（事務 2 名、技術（電気）1 名、精神保健福祉士 1 名、薬剤師 6 名、放射線技師 1 名、臨床工学技師 1 名、理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名）

・ 北病院

正規職員 4 名（事務 1 名、作業療法士 1 名、精神保健福祉士 1 名、医師 1 名）

③ 材料費

材料費については、薬品費のうち肝炎治療薬を27年度より19億9200万円程度の減とし、27年度決算見込より18億4200万円の減を見込んだ。

○ 経常利益

経常利益は、中期計画（8億68百万円）を上回る8億8300万円を見込んだ。

◎ 28年度 新規・主要事業項目

28年度は、患者サービスの向上・職員への福利厚生・業務改善に関する事業を主要項目として予算を計上した。

《患者サービス向上》

- 家族とともに迎える出産をサポートする事業
家族とともに落ち着いて安らかに出産を迎えられるよう、陣痛から出産まで同じ部屋で過ごせる陣痛分娩室の整備
- 無菌室の増床
造血幹細胞移植などの増加に対応するための無菌室の増床整備
- 連携医療機関検索システムの導入
患者が「かかりつけ医」の検索をスムーズに行うことができるシステムの導入
- 病院パンフレットの作成
患者への案内、職員募集などにあたり、病院の特徴や魅力を伝えることができる病院パンフレットの作成
- 北病院バスの更新
購入から17年経過し、エンジントラブルの発生など老朽化が進んでいる北病院バスの更新

《職員への福利厚生》

- 病児・病後児保育施設の開設
家庭と仕事の両立及び医療従事者の離職の防止を図るため、病院職員の児童を対象とした病児・病後児保育施設の開設
- 看護師確保対策、看護職員の教育研修
看護学生を対象とした病院説明会等の開催、eラーニングによる看護の質の向上を図るための経費

《業務改善》

- マイナンバー管理システムの導入
個人番号法の施行に伴う、職員等の個人番号の適切な管理、利用のためのシステム整備に係る経費
- 財務会計システムサーバーの更新
保守サポート期間が終了したサーバー更新に要する経費

《その他》

- 山梨県立中央病院開院140周年記念事業
28年度は山梨県立中央病院が開院して140周年を迎える節目の年となることから、PR効果が高い記念事業を開催するための経費